

平成30年度総務委員会活動経過報告

1. 会議等の開催状況

- ・ 第1回総務委員会 平成30年8月3日(金) 東京大学附属図書館
- ・ 第2回総務委員会 平成30年11月2日(金) 東京大学附属図書館
その他、メールによる協議を行った。
- ・ 理事会付託事項に関する委員長館の打ち合わせ
平成30年9月10日(月) 東京大学附属図書館
※総務委員会委員長から各委員会に呼びかけて実施

2. 活動内容

(1) 平成30年度事業計画について

第1回委員会において理事会付託事項の検討、図書館内外との協働及び人的交流の検討、協会ビジョンの達成度確認方法の検討を含む平成30年度事業計画を策定した。

(2) 総会から理事会への付託事項について

第65回総会において、各委員会活動の再点検およびビジョンに基づく協会全体のアクションプランの検討が理事会に付託された。理事会のメール審議に基づき、本委員会で付託事項の検討を開始することになり、主に研究データ管理、オープンデータ、オープンサイエンスに関する国の政策動向等を踏まえた協会の対応について検討した。本委員会で検討および各委員会の委員長館による意見交換を踏まえて原案を作成し、秋季理事会に提案することになった。

(3) 協働および人的交流のあり方の検討について

昨年度実施した調査の取り扱いおよび今後の展開を協議し、引き続き理事会への提案に向けた活動を行うことになった。

(4) 海外派遣事業について

春季理事会(平成30年5月14日)で了承されたことを受け、平成30年度海外派遣者の追加募集を行い、選考した。その後、メール審議により理事会で1名の追加派遣が決定された。

平成30年度をもって海外派遣事業の実施期間が終了することを受けて、平成31年度以降の事業継続について検討した。協議の結果、事業期間を平成31

年度の 1 年間延長する海外派遣事業実施要項の改正案を秋季理事会に提案すること、及び今後 1 年程度掛けて事業のあり方を検討することを了承した。

(5) 平成 31 年度国立大学図書館協会賞について

10 月 31 日を期限として平成 31 年度協会賞を募集した結果、2 件の応募があった。今後、協会賞専門委員会を設置し、協会賞専門委員会要項第 4 条により同専門委員会の委員長を指名する予定である。

(6) 協会賞を含む会員館の優れた取り組みの発信のあり方について

春季理事会で了承された「会員館の優れた取り組みの発信について」に基づき、協会賞を受賞した取り組み等の協会ウェブサイトからの発信及び会員館が広く周知したい活動・取り組み・イベント等の SNS(Twitter)による発信を実施することになった。

(7) 協会ビジョンの達成度の確認及び今後の取り扱いについて

昨年度の各委員会に続いて、今年度中に各会員館のビジョンに基づく取り組みのまとめ(中間)を依頼することについて、秋季理事会に提案することになった。

また、2020 年を一つの節目としてそれまでの達成度を確認し、必要に応じてビジョンに対する検討を加えるとしていることから、その方法や日程について引き続き検討することになった。

(8) 第 66 回国立大学図書館協会総会の日程について

総会日程の大枠は第 65 回総会を踏襲しつつ、プログラムの詳細をさらに検討することとし、を理事会に提案することになった。

3. 委員構成

委員長：	熊野純彦	東京大学附属図書館長
委員：	小陳左和子	東北大学附属図書館総務課長
	竹内比呂也	千葉大学附属図書館長
	高橋努	東京大学附属図書館事務部長
	井上恵美	東京大学教養学部等事務部図書課長
	磯谷峰夫	新潟大学学術情報部学術情報管理課長
	大山努	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	米澤誠	京都大学附属図書館事務部長
	郷原正好	広島大学図書館部長
	熊淵智行	琉球大学附属図書館事務部長
	事務局：	森一郎
	金藤伴成	東京大学附属図書館総務課企画渉外係長